

令和3年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

第1問（配点30点）

（設問1）

財務諸表を利用して、診断及び助言の基礎となる財務比率を算出する能力を問う問題である。

（設問2）

財務比率を基に、事例企業の財務的特徴とリスク要素を分析する能力を問う問題である。

第2問（配点30点）

（設問1）

設備更新投資において、耐用年数を残した旧設備を売却し新設備へと更新を行う場合における財務面での変化を整理し、初年度の差額キャッシュフローを算出する能力を問う問題である。

（設問2）

設備更新投資における毎期の差額キャッシュフローを計算し、正味現在価値を算出する能力を問う問題である。

（設問3）

設備更新投資において、更新時期を遅らせるという代替案が正味現在価値上有利となるための条件を求める能力を問う問題である。

第3問（配点20点）

（設問1）

短期利益計画の策定に利用する損益分岐点分析において、与えられた情報を用いて目標利益を達成する販売量を算出する能力を問う問題である。

（設問2）

目標販売量に応じて販売単価の設定が異なる場合において、与えられた条件に基づいて目標利益を達成するための販売量を算出する能力を問う問題である。

第4問（配点20点）

（設問1）

不採算事業の状況を把握するとともに不採算となる要因を分析し、それを踏まえて対処

法である業務統合が与える財務指標への短期的効果について適切に助言する能力を問う問題である。

(設問 2)

不採算事業の特徴を理解し、その継続による企業価値への影響を長期的観点から適切に助言する能力を問う問題である。

以上